



## ドライアイリサーチアワード 2024 応募要項

ドライアイ研究会では涙液・角結膜上皮およびドライアイに関する優れた若手研究者の育成を目的として『ドライアイリサーチアワード』を設けております。この『ドライアイリサーチアワード』は、涙液・角結膜上皮およびドライアイに関する優れた内容の研究をおこない、その業績の一部を国内・海外学術論文に発表した本研究会会員の中から選出されますので、是非奮ってご応募ください。

### 1. 目的：

ドライアイ研究会が日本のドライアイ研究を助成振興し、研究向上発展に寄与することを目的とする。

### 2. 対象者：

- ① 日本の大学、大学院および医療機関、それに準ずる研究機関に所属する研究者
- ② 眼科医でドライアイ研究会会員
- ③ 2024年1月1日現在で45歳以下（2023年より規定に変わりました）
- ④ 応募者は2023年1月1日～同年12月31日に発表された論文の筆頭著者
- ⑤ 2024年11月14日(木)～17日(日)開催の第78回日本臨床眼科学会、現地にて受賞講演のできる方（オンライン参加も可）

なお、以下1)～5)に当てはまるものは応募資格がないものとする。

- 1) ベストリサーチアワード受賞者
- 2) 2回以上のドライアイリサーチアワード受賞者
- 3) ドライアイ研究会世話人  
※Co-authorとしての世話人の関与はあってもよい。
- 4) 同論文がすでに以前のドライアイリサーチアワードに応募されている場合
- 5) Pubmedにて応募論文が確認できない場合

※雑誌発行とのタイムラグがある場合でもPubMedで確認、もしくはeditorからのaccept letterが2023年12月31日までに確認できれば認めるものとする。

※申請時ならびに発表時ドライアイ研究会会員であれば、投稿時にドライアイ研究会非会員であっても認められる。



### 3. 選考および結果の通知：

- ・ドライアイリサーチアワードの一次選考は、ドライアイ研究会世話人による選考委員会にて評価を実施し、その平均点上位2～3名を受賞者とする。

※応募者数が5名以下の場合、2名の選出とする。

※世話人自身が *Co-Author* の論文の評価は行わない。

※同点の場合は、年齢が若い者を優先する。

- ・リサーチアワード受賞者にはその結果を2024年6月末日頃までに応募者に通知する。
- ・ドライアイリサーチアワード受賞講演は2024年第78回日本臨床眼科学会内にて行う。
- ・ベストリサーチアワードは、アワード受賞者の受賞記念講演を行ったうえで、当会世話人数名と外部審査員1名で構成される最終審査委員の投票により1名が選出される。

※投票数が同数の場合、ドライアイリサーチアワード担当世話人の1票を加えて選出する。

※最終審査委員は、ドライアイリサーチアワード受賞論文の *Co-author* に含まれている方については可能な限り除外されるものとする。

### 4. 副賞

ドライアイベストリサーチアワード受賞者

- ・賞金 30万円（賞金の用途に規制はない）
- ・ドライアイベストリサーチアワードトロフィー
- ・Frontiers in Dry Eye への寄稿

ドライアイアリサーチアワード

- ・ドライアイリサーチアワードトロフィー
- ・Frontiers in Dry Eye への寄稿

※セミナー参加旅費・宿泊費・VISA申請などの支援は行わない

### 5. 応募方法：

応募者は必要事項をウェブフォームより申請する。研究題目に関連する学术论文（PDFファイル）をウェブフォームより事務局へ提出する。なお推薦者はドライアイ研究会世話人もしくは国内の眼科教授とするが、推薦者は必須ではない。自己推薦の場合は推薦書の提出の必要はない。必要書類は下記事務局ホームページよりダウンロードすること。

お申込みは以下WEBサイトよりお願いします。

<http://dryeye.ne.jp/for-member/research-achievements/research-award/requirement/>

### 6. 締切日：2024年5月3日（金）



★応募要項の問合せ先：

ドライアイ研究会事務局代行 担当：小池 えり子、井筒 花枝  
〒150-6090 東京都渋谷区恵比寿 4-20-4  
恵比寿ガーデンプレイス グラススクエア PORTAL POINT Ebisu #B5  
TEL：03-6456-4018 E-mail：[inquiry@dryeye.ne.jp](mailto:inquiry@dryeye.ne.jp)  
HP：<http://dryeye.ne.jp/>

## 【ドライアイ リサーチ アワード 実績紹介】

### 【2005年受賞者】

第25回ドライアイ研究会（第59回日本臨床眼科学会専門別研究会）にて表彰

- ① 堀 裕一（大阪大学医学部眼科）「ヒト結膜上皮細胞における膜型ムチンの発現について」
- ② 丸山 邦夫（京都府立医科大学眼科）「環境変化に伴うソフトコンタクトレンズ装用眼の涙液動態および乾燥感」

### 【2006年受賞者】

第26回ドライアイ研究会（第60回日本臨床眼科学会専門別研究会）にて表彰

- ① 中村 滋先生（株式会社 オフテクス）  
D-beta-hydroxybutyrate protects against cornealepithelial disorders in a rat dry eye model with jogging board.
- ② 小川 葉子先生（慶應義塾大学医学部眼科学教室）  
Donor fibroblast chimerism in the pathogenic fibrotic lesion of human chronic graft-versus-host disease.

### 【2007年受賞者】

第27回ドライアイ研究会（第61回日本臨床眼科学会専門別研究会）にて表彰

- ① 高 静花 先生（ロチェスター大学眼科、大阪大学医学部眼科）  
Serial Measurements of Higher-order Aberrations after Blinking in Normal Subjects
- ② 村戸 トール 先生（慶應義塾大学医学部 J&J オキュラーサーフェス眼光学講座 准教授）  
Strip Meniscometry: A New and Simple Method of Tear Meniscus Evaluation

### 【2008年受賞者】

第28回ドライアイ研究会（第62回日本臨床眼科学会専門別研究会）にて表彰

- ① 土至田 宏（順天堂大学医学部眼科 准教授）  
Evaluation of novel dry eye model: pre-ganglionic parasympathetic denervation in rabbit.
- ② 後藤 英樹（鶴見大学歯学部眼科学教室 准教授）  
Tear Evaporation Rates in Sjögren Syndrome and non-Sjögren Dry Eye Patients

### 【2009年受賞者】

第29回ドライアイ研究会（第63回日本臨床眼科学会専門別研究会）にて表彰

- ① 横井 則彦（京都府立医科大学大学院医学研究科視覚機能再生外科学 准教授）  
Rheology of Tear Film Lipid Layer Spread in Normal and Aqueous Tear-Deficient Dry eyes
- ② 有田 玲子（伊藤医院眼科・東京大学眼科学教室）  
Noncontact infrared meibography to document age-related changes of the meibomian glands in a normal population.

### 【2010年受賞者】

第30回ドライアイ研究会（第64回日本臨床眼科学会専門別研究会）にて表彰

- ① 小川 葉子（慶應義塾大学医学部眼科学教室）  
Epithelial mesenchymal transition in human ocular chronic graft-versus-host disease
- ② 鎌尾 知行（愛媛大学医学部眼科学教室）  
Genetic Dissociation of Dacryoadenitis and Sialadenitis in a Sjögren's Syndrome Mouse Model with Common and Different Susceptibility Gene Loci

### 【2011年受賞者】

第31回ドライアイ研究会（第65回日本臨床眼科学会専門別研究会）にて表彰

- ① 川島 素子先生（慶應義塾大学医学部眼科学教室）  
Calorie restriction: A new therapeutic intervention for age-related dry eye disease in rats.
- ② 樋口 明弘先生（慶應義塾大学医学部総合医科学研究センター）  
Selenoprotein P controls oxidative stress in cornea.



#### 【2012年受賞者】

第32回ドライアイ研究会（第66回日本臨床眼科学会 SIG）にて表彰

- ① オサマ イブラヒム先生（慶應義塾大学医学部眼科学教室）  
The efficacy, sensitivity, and specificity of strip meniscometry in Conjunction with Tear Function Tests in the Assessment of Tear Meniscus.
- ② 小島 隆司先生（岐阜赤十字病院）  
Effect of Controlled adverse chamber environment exposure on tear functions in silicon hydrogel and hydrogel soft contact lens wearers.

#### 【2013年受賞者】

第33回ドライアイ研究会（第67回日本臨床眼科学会 SIG）にて表彰

- ① 小島 隆司先生（慶應義塾大学医学部眼科教室）  
Age-related dysfunction of the lacrimal gland and oxidative stress: evidence from the Cu,Zn-superoxide dismutase-1 (Sod 1) knockout mice.
- ② 鴨居 瑞加先生（慶應義塾大学医学部眼科教室）  
Accumulation of secretory vesicles in the lacrimal gland epithelia is related to non-Sjögren's type dry eye in visual display terminal users

#### 【2014年受賞者】

ドライアイ研究会共催イブニングセミナー（第68回日本臨床眼科学会）にて表彰

- ① 平山 雅敏先生（慶應義塾大学医学部眼科学教室）  
Functional lacrimal gland regeneration by transplantation of a bioengineered organ germ  
Nat Commun. 2013;4:2497
- ② 谷口 紗織先生（慶應義塾大学医学部眼科学教室）  
Angiotensin II type 1 receptor antagonist attenuates lacrimal gland, lung, and liver fibrosis in a murine model of chronic graft-versus-host disease.  
PLoS One. 2013 Jun 6;8(6):e64724.

#### 【2015年受賞者】

ドライアイ研究会共催ランチョンセミナー（第69回日本臨床眼科学会）にて表彰

ベストリサーチアワード

上田 真由美先生（京都府立医科大学）

IKZF1, a New Susceptibility Gene, for Cold Medicine-Related Stevens-Johnson Syndrome/ Toxic Epidermal Necrolysis with Severe Mucosal Involvement J Allergy Clin Immunol. 2014.12.1916.

リサーチアワード

- ① オサマ イブラヒム先生（慶應義塾大学医学部眼科学教室）  
Oxidative Stress Induced Age Dependent Meibomian Gland Dysfunction in Cu, Zn-superoxide dismutase-1 (Sod1) Knockout Mice. PLOS ONE, Vol.9(7), 1-13 (July 2014)
- ② 内野 裕一先生（Harvard Medical School, Schepens Eye Research Institute）  
Alteration of Tear Mucin 5AC in Office Workers Using Visual Display Terminals: The Osaka Study JAMA Ophthalmol. doi:10.1001/jamaophthol. (June 2014)

#### 【2016年受賞者】

ドライアイ研究会共催イブニングセミナー（第70回日本臨床眼科学会）にて表彰

ベストリサーチアワード

吉岡 恵理子（愛媛県立中央病院眼科・吉岡眼科・さかい産婦人科）

「ドライアイ患者の眼表面フルオレセイン染色に対する眼瞼圧の影響」Am J Ophthalmol. 2015 Oct;160(4):685-692.e1.

リサーチアワード

- ① 平山 雅敏（慶應義塾大学医学部眼科学教室）  
「The changes in the expression profiles of cytokeratins in mouse lacrimal gland development」Exp Eye Res. 2015 Nov 30;146:54-59.
- ② 重安 千花（杏林大学医学部附属病院眼科）  
「涙液成分からみたジクアス点眼の臨床効果」Jpn J Ophthalmol. 2015 Nov;59(6):415-20



#### 【2017年受賞者】

ドライアイ研究会共催ランチョンセミナー（第71回日本臨床眼科学会）にて表彰  
ベストリサーチアワード

内野 裕一（慶應義塾大学医学部眼科学教室）

「Impact of Cigarette Smoking on Tear Function and Correlation between Conjunctival Goblet Cells and Tear MUC5AC Concentration in Office Workers.」 Sci Rep. 2016 Jun 14;6:27699.

リサーチアワード

① 海道 美奈子（慶應義塾大学医学部眼科学教室）

「Relationship of Corneal Pain Sensitivity With Dry Eye Symptoms in Dry Eye With Short Tear Break-Up Time. Exp Eye Res.」 Invest Ophthalmol Vis Sci. 2016 Mar;57(3):914-9

② 樋口 明弘（大分大学全学研究推進機構）

「Selenium-binding lactoferrin is taken into corneal epithelial cells by a receptor and prevents corneal damage in dry eye model animals.」 Sci Rep. 2016 Nov 11;6:36903.

#### 【2018年受賞者】

ドライアイ研究会共催イブニングセミナー（第72回日本臨床眼科学会）にて表彰  
ベストリサーチアワード

北澤 耕司（京都府立医科大学北部医療センター）

「PAX6 regulates human corneal epithelium cell identity」 Exp Eye Res. 2017 Jan;154:30-38.

リサーチアワード

① 海道 美奈子（慶應義塾大学医学部眼科学教室）

「Relation of accommodative microfluctuation with dry eye symptoms in short tear break-up time dry eye.」 PLoS One. 2017 Sep 8;12(9):e0184296.

② ブホアンビエトチ（慶應義塾大学医学部眼科学教室）

「Influence of Meibomian Gland Dysfunction and Friction-Related Disease on the Severity of Dry Eye」 Ophthalmology. 2018 Feb 16. pii: S0161-6420(17)32722-7.

#### 【2019年受賞者】

ドライアイ研究会共催イブニングセミナー（第73回日本臨床眼科学会）にて表彰  
ベストリサーチアワード

田川 義晃（北海道大学大学院医学研究院眼科学教室）

「Corneal hyperalgesia in patients with short tear film break-up time dry eye.」 Ocul Surf. 2019 Jan;17(1):55-59. doi: 10.1016

リサーチアワード

① 糸川 貴之（東邦大学医療センター 大森病院眼科）

「Association Between Ocular Surface Temperature and Tear Film Stability in Soft Contact Lens Wearers.」 Invest Ophthalmol Vis Sci. 2018 Feb 1;59(2):771-775. doi: 10.1167/iovs.17-23173.

② 園部 秀樹（慶應義塾大学医学部眼科学教室）

「A novel and innovative paper-based analytical device for assessing tear lactoferrin of dry eye patients.」 Ocul Surf. 2019 Jan;17(1):160-166. doi:10.1016/j.jtos.2018.11.001. Epub 2018 Nov 3.

#### 【2020年受賞者】

ドライアイ研究会共催セミナー（web）（第74回日本臨床眼科学会）にて表彰  
ベストリサーチアワード

猪俣 武範（順天堂大学医学部眼科学教室）

「Characteristics and Risk Factors Associated With Diagnosed and Undiagnosed Symptomatic Dry Eye Using a Smartphone Application」

JAMA Ophthalmol. 2019 Nov 27;138(1):58-68. doi: 10.1001/jamaophthalmol.2019.4815. Online ahead of print.

リサーチアワード

① 四釜 洋介（国立長寿医療研究センター口腔疾患研究部）

「Involvement of Adiponectin in Age-Related Increases in Tear Production in Mice」 Aging (Albany NY), 11 (19), 8329-8346 2019 Oct 8

② 羽入田 明子（慶應義塾大学医学部眼科学教室）

「Physical Inactivity, Prolonged Sedentary Behaviors, and Use of Visual Display Terminals as Potential Risk Factors for Dry Eye Disease: JPHC-NEXT Study」

Ocul Surf, 18 (1), 56-63 Jan 2020



#### 【2021年受賞者】

ドライアイ研究会共催イブニングセミナー（第75回日本臨床眼科学会）にて表彰  
ベストリサーチアワード

ジン カイ（中山大學付属第五病院）

「Identification of Lacrimal Gland Postganglionic Innervation and Its Regulation of Tear Secretion」  
Am J Pathol. 2020 May;190(5):1068-1079

リサーチアワード

① 小川 護（慶應義塾大學医学部眼科学教室）

「Eosinophils promote corneal wound healing via the 12/15-lipoxygenase pathway」  
FASEB J. 2020 Sep;34(9):12492-12501.

② 細谷 友雅（兵庫医科大学眼科教室）

「Characteristics of tear abnormalities associated with benign essential blepharospasm and amelioration by means of botulinum toxin type A treatment」

Jpn J Ophthalmol. 2020 Jan;64(1):45-53.

#### 【2022年受賞者】

ドライアイ研究会共催イブニングセミナー（第76回日本臨床眼科学会）にて表彰  
ベストリサーチアワード

佐藤 真理（慶應義塾大學医学部眼科学教室）

「Positive Effects of Oral Antibiotic Administration in Murine Chronic Graft-versus-Host Disease」

Int J Mol Sci. 2021 Apr 3;22(7):3745.

リサーチアワード

① 櫻井 裕（防衛医科大学校眼科）

「Programmed Cell Death-1 Pathway Deficiency Enhances Autoimmunity Leading to Dacryoadenitis of Mice」

Am J Pathol. 2021 Jun;191(6):1077-1093.

② 羽入田 明子（慶應義塾大學医学部眼科学教室）

「Relationship between unhealthy sleep status and dry eye symptoms in a Japanese population: The JPHC-NEXT study」

Ocul Surf. 2021 Jul;21:306-312.

#### 【2023年受賞者】

ドライアイ研究会共催イブニングセミナー（第77回日本臨床眼科学会）にて表彰  
ベストリサーチアワード

鄭 有人（東邦大学医療センター 大森病院眼科）

「Pathogenic Mechanism of Dry Eye-Induced Chronic Ocular Pain and a Mechanism-Based Therapeutic Approach」

Invest Ophthalmol Vis Sci. 2022 Jan 3;63(1):7.

リサーチアワード

① 楊 帆（Sun Yat-sen University）

「Eyelid blood vessel and meibomian gland changes in a sclerodermatous chronic GVHD mouse model」

Ocul Surf. 2022 Oct;26:328-341.

② 奥村 雄一（順天堂大学医学部眼科学講座）

「Biological effects of stored platelet-rich plasma eye-drops in corneal wound healing」

Br J Ophthalmol. 2022 Sep 26;bjo-2022-322068.